



平成 18 年 5 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社トラスト
 代表者名 代表取締役社長 西山 勝晃
 (コード番号 3347 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役管理部長 高森 弘
 (TEL. 052 - 219 - 9058)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 2 月 13 日の第 3 四半期決算発表時に公表いたしました平成 18 年 3 月期 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)
 (単位: 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	6,907	800	472
今 回 修 正 予 想 (B)	5,044	692	377
増 減 額 (B-A)	△1,863	△108	△95
増 減 率 (%)	△26.9	△13.5	△20.1
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 3 月期)	—	—	—

(注)当連結会計年度が連結財務諸表の作成初年度であるため、前年実績は表示していません。

2. 修正の理由

(売上高)

車両荷降ろしの拠点である南アフリカ共和国の輸入中古車への規制強化に対して仕向け港の変更等の施策を行いました。規制の影響が大きく、また、中南米向けの船舶の確保が一部困難な状況が続いたことから伸び悩みました。

なお、今後は南アフリカ共和国の大手輸送会社との現地車両輸送等に関する契約により、規制を回避できるものと考えております。

(経常利益及び当期純利益)

現地販売価格から販売価格の見直しによる適正価格化を図るとともに、車両管理に伴う費用の削減等により利益率は上昇いたしました。しかし、売上高が減少したため、予想数値を確保することが困難となりました。また、子会社である AMANA SHIPHOLDING S.A において、受取リース料の収益があったものの、船舶取得及び減価償却費の計上等により損失を計上しております。

3. 平成 18 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)
 (単位: 百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	6,907	800	472
今 回 修 正 予 想 (B)	5,044	705	391
増 減 額 (B-A)	△1,863	△95	△81
増 減 率 (%)	△26.9	△11.8	△17.1
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 3 月期)	5,376	600	343

4. 修正の理由

(売上高)

車両荷降ろしの拠点である南アフリカ共和国の輸入中古車への規制強化に対して仕向け港の変更等の施策を行いました。規制の影響が大きく、また、中南米向けの船舶の確保が一部困難な状況が続いたことから伸び悩みました。

なお、今後は南アフリカ共和国の大手輸送会社との現地車両輸送等に関する契約により、規制を回避できるものと考えております。

(経常利益及び当期純利益)

販売価格の見直しによる適正価格化を図るとともに、車両管理に伴う費用の削減等により利益率は上昇いたしました。売上高が減少したため、予想数値を確保することが困難となりました。

以 上

上記の業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものです。実際の業績はさまざまな要因によりこれらの業績予想とは大きく異なる可能性があります。